

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会学		必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
萩原 学	講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要	<p>(目的) 本科目では、「社会」に関する素朴な疑問について、私たちが安心して暮らし、働ける仕組みとしての社会について、学生が主体的に学び、将来どんな仕事に就いても役立つ「人生の可能性」と「豊かな生き方」について考え方を広げることを目的とする。</p> <p>(概要) なテーマから捉え、生活や働くこととの関係を考える。事前課題や、グループワークを通して、自分の将来や社会とのつながりとして主体的に理解を深まるよう授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	なし				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会で起きている出来事に関する考え方を習得し、社会学を説明することができる。			HC(1)(2)(3)	
②	PBL・グループワークを通して、出来事の見方を理解し表現することができる。			HC(1)(2)(3)(4)(6)	
③	人生の可能性や生き方について、心豊かな考え方を描けるように調べたり工夫することができる。			HC(1)(2)(3)(4)(6)	
④					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価等についての説明、学習方法について理解する。	講義	シラバスを精読する。	2	
2	「人類ってどう分ける? “科学” がつくる境界線」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
3	「旅はいつ生まれた? 観光というビジネスの正体」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
4	「“ホンモノ” って何? つくられるリアルの正体」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
5	「男らしさ・女らしさって誰が決めた?」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
6	「好きだけじゃダメ? 結婚できる/できないの社会ルール」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
7	「なぜそれ食べるの? “当たり前” の裏側」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
8	「やさしさの中の違和感? 差別はどこから生まれるのか」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
9	「その“赤”、同じ色? ズレる世界の見え方」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
10	「守る? 壊す? 開発と自然の終わらないせめぎ合い」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
11	「いいことって何? 自己責任社会と“助け合い” のゆくえ」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
12	「“自分らしさ” って何者? アイデンティティの迷宮」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
13	「勝つのが正義? 競争社会のルールを読む」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
14	「世界は同じになる? それとも違い続ける?」について学習する。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	4	
15	授業の振り返り、まとめ。	講義 グループワーク	事前課題に取り組み、授業の復習をする。	6	

【2026 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。		
---	---------------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	0	0	50	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	5	5
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	10	0	0	0	10	20
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	5	15
	コミュニケーション力	10	0	0	0	10	20
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	10	20
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	5	5

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	学期末に試験を実施して、科目内容の理解を評価する。 試験範囲は、講義で用いたテーマから出題する。 試験形式：筆記試験 問題形式：選択式・記述式	Teams にて解答例を掲示する。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	課題への取組み状況やグループワークへの参加姿勢などを評価する。	質問については、授業にて共有する。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	個別支援から地域支援まで地域課題を把握し、地域共生社会の実現に向けて地域づくりを推進してきた実務経験がある。(22年間) 現在、地域共生社会の実現を目指し障害児通所支援事業を経営、児童指導員としての実務も有する。
実践的授業の内容	シラバスに沿って、毎回テーマを通じて物事の見方を分かりやすく説明し、グループワークを通じて学生がより良い日々の暮らしをイメージ、社会学について楽しく学べる授業を進める。
そ の 他	<b>【受講する際の注意事項】</b> ・シラバス内容を講義の進行状況によって変更することがありえる。 ・生成 AI の使用については、課題に応じて随時教員より使用/不使用の指示をする。